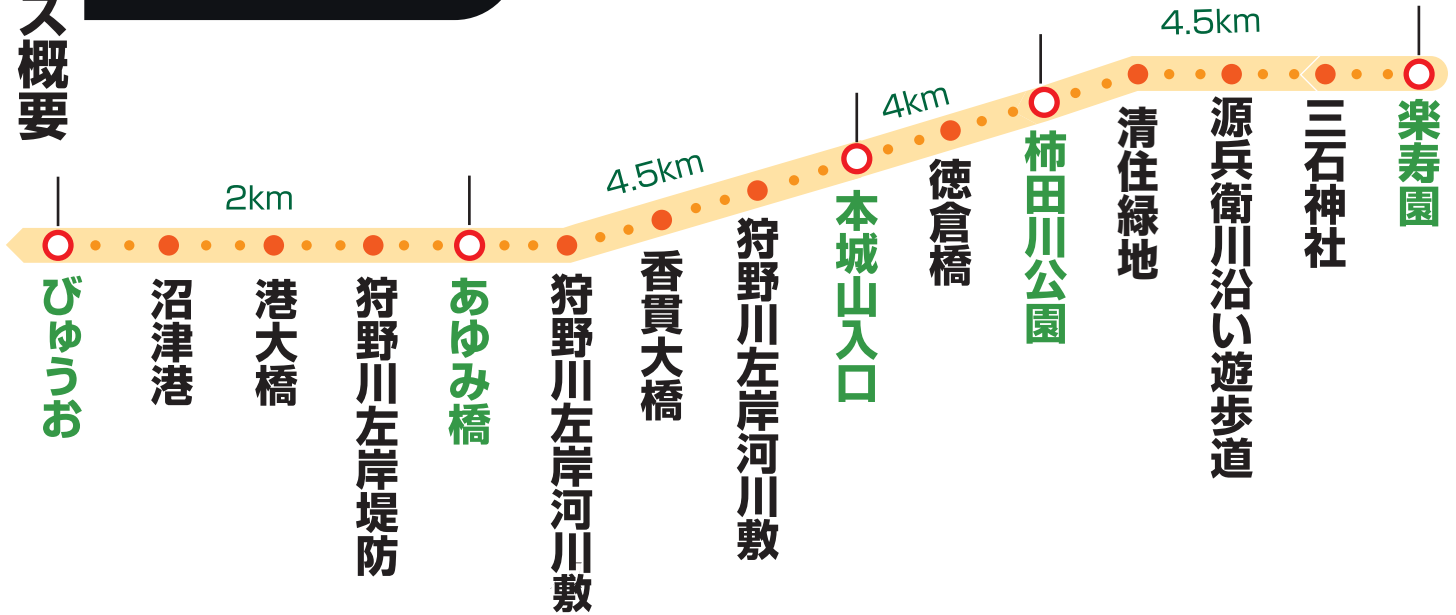


約15km



源兵衛川【三島市】



「水の都・三島」を象徴する源兵衛川は、富士山の伏流水が湧き出る楽寿園小浜池を水源とする約1.5kmの清流です。水辺を散歩できるよう、随所に置き石が設けられ、市民や観光客が集い、子供たちのよい遊び場にもなっています。定期的な河川清掃や蛍の幼虫放流などの活動も行われています。水辺環境整備のための見学や各地からの視察も多く、まさに「街中がせせらぎ」のシンボルとなっています。

清住緑地【三島市】



「清住緑地」は、市街地の中にありながら、湧水や多様な動植物が生息する豊かな自然環境を残しており、この保全を図るとともに地域に親まれる水辺空間を創造するため、計画段階から地域住民、NPO、行政などによる協働のパートナーシップのもと各々が活動の担い手となって水辺の整備が進められてきました。ところどころで湧水を見ることができ、小川が流れ、草木がしげり、昆虫、魚類、野鳥などたくさんの生き物がすんでいます。

柿田川【清水町】



清水町の中心に位置する柿田川は約40キロ離れた富士山に降った雨や雪が、1日100万トンもの豊富な水量となって湧き出したもので、湧き水としては「東洋一」といわれています。また、日本で最も美しい河川のひとつとして知られ、「日本の名水百選」や、国の天然記念物にも指定されています。河川の上流部は、柿田川公園として整備されており、年間約40万人が訪れるスポットとなっています。

本城山【清水町】



清水町の中心部、狩野川沿いに位置する標高76.2メートルの山。かつて駿河の今川氏から伊豆を守るために、戦国大名北条氏綱が徳倉城を築いた山城跡につくられた公園は、山頂の展望台から360度の眺望が楽しめるなど、絶景の富士山ビューポイントとして人気があります。

狩野川【沼津市】



沼津市の中心市街地をゆったりと流れる狩野川は、伊豆半島の最高峰・天城山に源を発して北流し、途中富士山麓を流れる黄瀬川と合流して駿河湾に注ぐ総延長46kmの一級河川です。いにしえより伊豆北部から沼津に至る広大な流域に、豊かな自然の恵みを与えてくれています。あゆみ橋から御成橋付近の狩野川右岸には、再開発ビルと共に、階段堤が整備され、市民の憩いの場となっています。

びゅうお【沼津市】



沼津港大型展望水門、愛称「びゅうお」は、大地震などにより発生する津波が沼津港内に進入するのを防ぎ、港の背後に広がる地域と人々を守るための水門として設置されました。津波を防ぐ巨大な扉は幅40m、高さ9.3m、重量は406tと日本最大級です。一般公開されている展望回廊は地上高30m、南北の展望回廊をつなぐ連絡橋は幅4m、長さ30mにも及び、展望台からは360度のパノラマを楽しめます。
※「休館日：火曜（火曜休日の場合営業、翌日休館）」